

年次報告書・終了報告書作成の 手順と手引き

- 実験責任者が作成してください。
- 承認された動物実験計画に対して**年度ごとに提出する必要があります**。
- 年次報告書・終了報告書の内容は、情報公開請求により**情報公開される可能性**があります。
- 動物実験が科学的かつ社会的に適切に行われていたことが**一般の方にも分かる**ように記載して下さい。
- **非公開にできる内容**に関して動物実験委員会で基準を設けていますので確認して下さい。
- 情報公開で非公開を希望する内容に関しては、**赤字**で示してください。

ステップ1) 報告すべき計画書の内容の確認

Organization for Research Initiative and Promotion
鳥取大学研究推進機構

お知らせ 機構長メッセージ 機構について

動物実験電子システム

[申請](#) [審査](#)

実験申請をする方はこちらです。 審査をする方はこちらです。

マニュアル

- [申請用マニュアル PDF](#) (2017/4/10更新)
- 審査用マニュアルは、審査者としてログインされた画面に表示

動物実験委員会のトップページより
動物実験 電子申請システムの欄から
「申請」をクリックします。

実験申請システム

▶トップメニュー ▶申請者ログイン

申請者ログイン

ID・パスワードを入力してログインします。

ログインをしてください

メールアドレス

パスワード

ログイン状態を保持する

ログイン

実験申請システム

▶トップメニュー

トップメニュー

電子申請システムのページが開いたら
「動物実験」をクリックします。

動物実験

遺伝子組換え実験

実験申請システム

▶トップメニュー ▶動物実験計画申請メニュー

動物実験計画申請メニュー

続いて「動物実験計画申請書」をクリックします。

動物実験計画申請書

(新規申請・変更申請・
報告書提出)

変更履歴一覧

実験報告書
提出履歴一覧

実験申請システム

トップメニュー > 動物実験計画申請

申請一覧(動物実験計画申請書)

検索条件 [表示する]

1~20件 / 23件

+申請を新規作成

研究課題名	実験責任者 氏名	申請日	受付番号	承認番号	承認日	実験実施 期間	変更 履歴	組換え 申請	削除
✓ 遺伝...	大林 徹也	15/11/02	h27-Y046	15-Y-46	15/11/09	18/03/31		済中予定	
✓ 鳥取...	大林 徹也	15/09/15	h27-Y042	15-Y-42	15/09/15	18/03/31		済中予定	
✓ 実験...	大林 徹也	15/05/21	h27-Y026	15-Y-26	15/06/03	18/06/02		済中予定	

動物実験計画書の申請一覧が表示されます。
該当計画書をクリックして表示し、
内容を確認してください。

自身が実験責任者となっている、
それぞれの研究課題に対して報告書が必要です。
この場合、3つの報告書を提出する必要があります。

実験申請システム

トップメニュー > 動物実験計画申請メニュー > 申請一覧(動物実験計画申請書) > 申請の内容

h31-Y00

新規

新規 承認済み

印刷

実験実施期間
2019/05/29 ~ 2020/06/30

申請の変更・新規提出
 変更申請 (提出不可) この内容を複製して新規申請

年次報告
→ ▲20年度分 提出してください

終了報告
 計画した期間の途中で終了する 終了報告を提出してください

ここをクリックすると、入力画面に移動します。
年次報告書は「2020年度分」を提出して下さい。

「終了報告書」提出時期に該当する方は、
そちらの入力もお願いいたします。

ステップ2) 年次報告書・終了報告書の入力

動物実験実施状況の検証

動物の使用実数	動物種	系統	性別	計画匹数	今年度使用匹数	延べ使用匹数	削除
	:: マウス	ICR	メス	630	120	360	×
	:: ラット	Wistar	オス	108	24	72	×

さらに追加

▼前年度の動物使用数を表示する

動物の使用実数

動物の選択
使用した動物種は適正であり、かつ適正に用
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載

動物数の削減
使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載が必要です。

動物の苦痛軽減 安楽死
動物の苦痛軽減、排膿及び安楽死を適正に行
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載

3R

動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載が必要です。

動物実験責任者、実施者及び飼養者は動物訓練を受けたか。
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載が必要です。

事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。
 なし あり
この欄は、「あり」にマークされた場合のみ記載が必要です。

施設等の利用

動物の苦痛軽減 安楽死
動物の苦痛軽減、排膿及び安楽死を適正に行
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載

教育訓練

動物実験責任者、実施者及び飼養者は動物訓練を受けたか。
 適 不適
この欄は、不適にマークされた場合のみ記載が必要です。

事故の発生

事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。
 なし あり
この欄は、「あり」にマークされた場合のみ記載が必要です。

「今年度使用匹数」欄には、当該年度に実際に使用した匹数を記入して下さい。「延べ使用匹数」欄は、終了報告の場合のみ記入して下さい。

3R、施設等の利用、教育訓練、事故の発生等について記入（マーク）します。「不適」にマークした場合は、下の記入欄にその理由を記載します。

「年次報告書」の入力は以上です。「確認画面へ進む」ボタンを押してご提出下さい。

4

「終了報告書」の場合は、以下の記入例を参考に続けて入力して下さい。

終了報告の場合は、以下の欄も記入して下さい。(年次報告では、以下の記載は不要です)

実験終了の年月日	<input type="text"/>
実験終了時の状況	期間 <input checked="" type="radio"/> 計画した実施期間満了 <input type="radio"/> 計画 「計画した実施期間の途中」の理由
実験終了時の動物の有無	動物の有無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 有の理由
実験成果の概要	実験成果
	学会発表
	論文発表
	著書
	その他
その他 (実験実施において気付いた事項)	
添付資料	添付資料 複数の添付が可能です。

実験成果は、実験計画最終年度に提出する終了報告の場合のみ記載し、年次報告では記入不要です。

「実験目的、結果、成果」について、平易かつ可能な限り具体的に記述して下さい。

学会発表欄は、実験計画最終年度に提出する終了報告の場合のみ記載し、年次報告では記入不要です。

「発表者名」、「タイトル」、「学会名」、「開催年月日」、「開催場所」を記載して下さい。学生の卒論発表もこの欄に記載して下さい。

論文発表欄は、「発表者名」、「タイトル」、「掲載誌名」、「巻」、「頁」、「年」を記載して下さい。

著書欄は、「著者名」、「タイトル」、「著者名(編)」、「頁」を記載して下さい。

特許申請等については、その他の欄に記載して下さい。

「終了報告書」の入力は以上です。「確認画面へ進む」ボタンを押してご提出下さい。